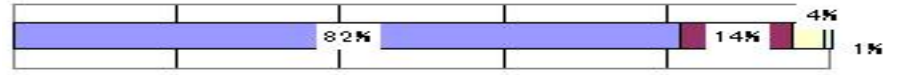


設問 1 子どもは楽しく学校生活を送っている。



設問 2 子どもは友達と仲良くしている。



設問 3 子どもには基本的な学習習慣が身につけてきている。



設問 4 子どもは授業が理解できている。



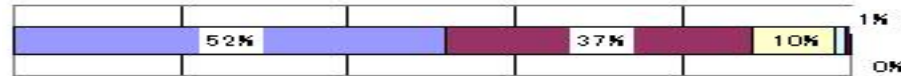
設問 5 子どもは基礎的な学力が身につけてきている。



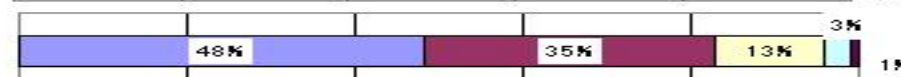
設問 6 子どもは運動会・遠足などの諸行事を楽しみにし、積極的に参加している。



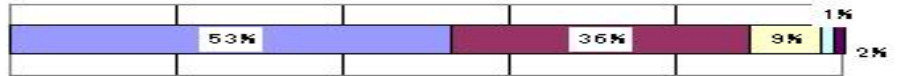
設問 7 教員は指導方法を工夫し、わかりやすい授業を行っている。



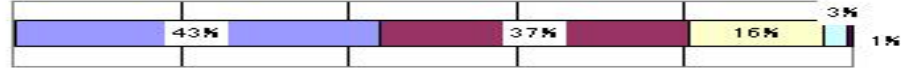
設問 8 教員は子どもの悩みや相談などに適切に対応をしている。



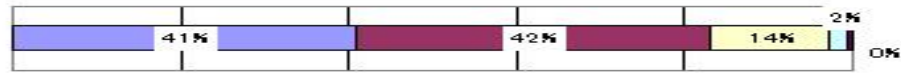
設問 9 教員は子どもの能力や努力を適切に評価している。



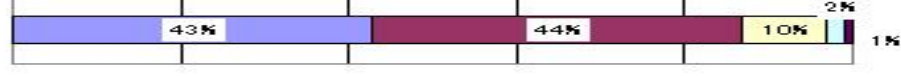
設問 10 教員は子ども理解に努め、個に応じた指導を工夫している。



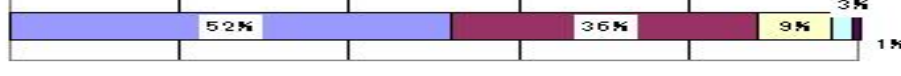
設問 11 本校は学校教育目標に基づいて具体的な取り組みを進めている。
(たくましい子・研究心のある子・やさしい子・まごころのある子)



設問 12 本校は命や人権、人を思いやることや社会のルールを守ることの大切さを教え、子ども達に豊かな心を育てようとしている。



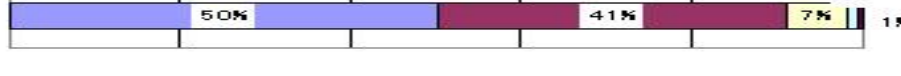
設問 13 本校は家庭との連絡を大切にし、学校便りや学年・学級通信、ホームページなどで学校の様子をよく知らせている。



設問 14 本校は保護者や地域のボランティアを活用し、保護者・地域との連携を進めている。



設問 15 本校は地域の特性を生かした教育活動を行っている。



【考察①】

質問全体を通して「そう思う」「少しそう思う」という肯定的な回答は 80%～98%に分布している。特に子どもたちは諸行事を楽しみにしているということがうかがえる。

【考察②】

個に応じた指導の工夫について肯定的回答は、昨年度から 3%上昇の 80%、悩みや相談などに適切な対応を行っているという質問に対しては昨年度から 4%上昇の 83%と、若干ながら増加している。保護者のみなさんの「子ども一人ひとりを丁寧に見てほしい」という願いを真摯に受け止め、今後も引き続き授業時間を有効に使うなどの方策を取っていききたい。

平成 25 年度児童アンケート調査 集計結果

調査対象：4・5・6 年生（回収数 336 名）

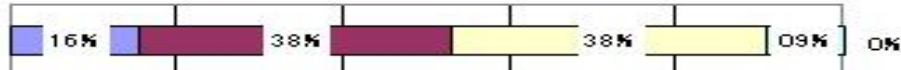
設問 1 各教科の学習は楽しい。



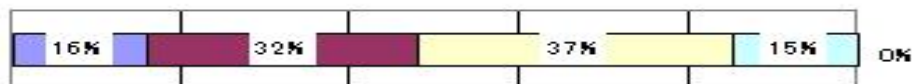
設問 2 学習の基本的な内容はわかっている。



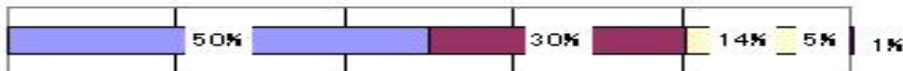
設問 3 授業では考えたことや思ったことをノートに書いたり、進んで話したりしている。



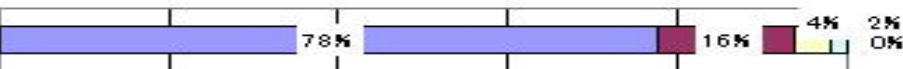
設問 4 自分で問題を見つけたり、調べたりすることができる。



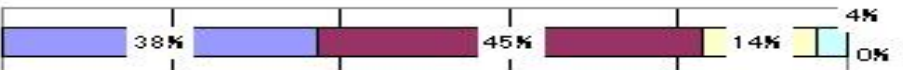
設問 5 学校で行う地域の方やボランティアの方の授業や活動は楽しい。



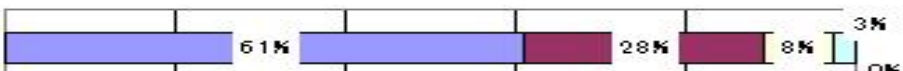
設問 6 学校で友だちと遊んだり、なかよくしたりしている。



設問 7 友だちがこまっているときにやさしくしたり、助けたりしている。



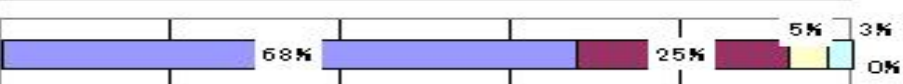
設問 8 学校では友だちから教えてもらったり、助けてもらったりしている。



設問 9 先生はできるようになったことやがんばったことをみとめてくれる。



設問 10 先生は命や人権、人を思いやることや社会のルールをまもることの大切さを教えている。



【考察① 友だち関係】 昨年度同様、「友だちとなかよくしている」と肯定的に回答している児童は 94%と多い。そして、「友だちに対して優しくしたり助けたりしている」と肯定的に回答している児童は 83%、また逆に、「友だちから教えてもらったり助けてもらったりしている」と肯定的に回答している児童は 89%であった。今後も引き続き、児童同士が友好的な関係を深めていけるようコミュニケーションのとり方を支援するなどして見守っていきたい。

【考察② 学習面】 学習面について、「楽しい」76%、「理解している」84%と肯定的に回答している児童は多い。しかし、「自分で問題を見つけたり調べたりすることができる」と回答している児童は 48%、また「考えたことや思ったことをノートに書いたり、進んで話したりしている」と回答している児童は 54%と非常に低い。自己表現することに対して苦手意識をもっている児童は少なくないので、今後児童が自信をもって自己表現できるような授業作りを目指し、自己肯定感を持たせられるような声かけをしていきたい。